

第5学年1組 外国語科学習指導案

令和3年10月26日（火）第5校時

1. 単元名 Unit 5 Where is the post office?

2. 単元について

本単元は、道案内の場面を通してコミュニケーションの楽しさを実感しながら活動することができる単元である。また児童にとって「外国人に道を尋ねられて案内する」など実際の使用場面をイメージしやすく、現実味を感じられる題材である。地図等を活用したインフォメーション・ギャップやロール・プレイを取り入れながら、目的・場面・状況のある言語活動を展開することで、児童の英語による発信力向上につながると考える。

本学級では今年度より外国語の指導を担当している。昨年度までの指導の積み重ねにより、多くの児童は英語の学習を楽しんでいる。また実際に英語を用いたコミュニケーションの場面においては、自分の思いや考えを英語で表現しようと一生懸命に考えたり、指導者に質問をしたりする姿が見られる。しかし日本語と英語の知識量の差から、既習表現で表しきれない内容を表現しようとして悩んだり、質問をしたりする場面が多く見られる。そのような場面では、できる限り既習表現を用いた近い内容で表現するように促しているが、それを自身で行えるような外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方の育成が現在の課題である。

本単元の指導に当たっては、単元末の Enjoy Communication の活動をアレンジし、「学校周辺がもっと住みやすい町になるためには、どこに何があったらよいか」を考えて案内しあう活動を設定した。現実の町を題材として目的・場面・状況を設定することで児童の興味・関心を引き起こすとともに、「あったらよいと思うものの場所」について互いの考えを知るために、本単元の言語材料を用いたコミュニケーションを行う必然性が生まれることを意図している。加えて、総合的な学習の時間等で学んでいる SDGs の目標 11 「住み続けられるまちづくりを」との関連も意識したテーマとなっている。単元目標の共有を図る第1時においては、本校の児童数が年々減少傾向にあることを取り上げることで問題提起をし、単元末の活動に取り組む動機付けを図る。様々な視点から自分の考えをもつことができるよう、教師や児童の家族の考えなども参考にさせたい。

教科書の各パートにおける指導については、Starting Out では単元末の活動内容を伝え、それに向けて必要な学習内容を CAN-DO リストの形で児童と共有する。また言語材料のインプットに焦点を当てて指導を行っていく。Your Turn ではインフォメーション・ギャップやロール・プレイを取り入れた言語活動を通して言語材料のアウトプットに取り組みせ、単元のゴールとなる Enjoy Communication に向けた発信力の育成を図る。Enjoy Communication では言語活動の評価基準を示した表である「ループリック」を児童と共有し、活動の見通しをもたせることで主体的な取り組みを促していく。Over the Horizon ではオリンピックでも話題になったピクトグラムに焦点を当て、国際社会におけるその有効性に気づかせたい。

3. 小中連携の視点

本単元の題材である道案内の対話は、中学校1年生および2年生の教科書でも扱われている。特に1年生の教科書では「徒歩での道順」についての案内が取り上げられていることから、本単元の学習内容が素地となって、小中の学びの接続が図られると考える。さらに小中で共通した取り組みとして、CAN-DO リストの有効活用に取り組む。今年度を通して、授業の振り返りの場面で CAN-DO リストの活用を習慣化することを目指す。次年度以降はその内容について小中の連携を深め、小学3年～中学3年までを見通した CAN-DO リストやそれに基づくカリキュラムの作成へとつなげていきたい。

4. ICT 及びパフォーマンステストコンテンツの活用について

大型モニターによるデジタル教材の提示に加えて、2学期から GIGA スクール構想による一人一台のタブレット端末が導入され、外国語科の授業においても様々な場面での活用を試みている。また、本事業に伴い導入されたパフォーマンステストコンテンツである「スピーキング・クエスト」についても、児童一人一人が自分の学習状況を把握し、達成感を感じたり次の目標をもったりするための機会として指導計画に取り入れている。本単元においても児童の発信力向上を図るため、児

童の言語活動の記録や思考を促すツールとしてタブレットを活用するとともに、「スピーキング・クエスト」を単元末に設定し学習の成果を確認する場面とした。

5. 単元目標

ものの位置や道案内に関する簡単な語句や基本的な表現を聞き取ったり、それらを用いて簡単な対話を行ったりすることができる。また、活字体の小文字を識別して読んだり書いたり、日本語と英語のアクセントの違いに気づいたりすることができる。

6. 関係する領域別の目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。
話すこと (やり取り)	ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。

7. 単元の評価規準

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p><知識> Where is the …? の質問および、ものの位置を表す It's on(in, under, by…)や道順を伝える Go straight for … blocks./ turn left(right) at the…corner.などの簡単な語句や基本的な表現を用いた答え方について理解している。</p> <p><技能> ものの位置や道順などについて、聞き取る技能を身に付けている。</p>	相手のことを理解するために、ものの位置や道順などについて、簡単な語句や基本的な表現を聞き取っている。	相手のことを理解するために、ものの位置や道順などについて、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ろうとしている。
話すこと (やり取り)	<p><知識> Where is the…? の質問及び、ものの位置を表す It's on(in, under, by…)や道順を伝える Go straight for … blocks./ turn left(right) at the…corner.などの簡単な語句や基本的な表現を用いた答え方について理解している。</p> <p><技能> ものの位置や道順などについて、Where is …? の質問及び、It's on(in, under, by…)や Go straight for … blocks. / turn left(right) at the…corner. など簡単な語句や基本的な表現を用いて指示をしたり、それらに応じたりする技能を身に付けている。</p>	自分のことを伝え、相手のことを理解するために、ものの位置や道順などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて指示をしたり、それらに応じたりしている。	自分のことを伝え、相手のことを理解するために、ものの位置や道順などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて指示をしたり、それらに応じたりしようとしている。

※ 本単元における「読むこと」及び「書くこと」については目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

8. 単元の指導計画（全8時間）

時	目標◆ ・ 活動○	評 価		
		知	思	主
1	◆ 単元のゴールを知り、学習の見通しをもつことができる。			
	<ul style="list-style-type: none"> ○ Sounds and Letters ○ Small Talk: What's this? (地図記号) ○ Let's Sing ○ Enjoy Communication モデル映像 ○ Small Talk: Do you like...?(地域の施設等) ○ 単元のゴールの共有 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「学校周辺が将来もっと住みやすい町になるには、どこに何があったらよいか」意見交換をしよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ CAN-DO リストの共有・自分の目標を立てる。 			◎評価規準<評価方法> 本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
2	◆ 道案内の対話を聞き、道順を尋ねたり答えたりする表現を理解する。			
	<ul style="list-style-type: none"> ○ Sounds and Letters ○ Let's Sing ○ Starting Out ○ Word Link「道案内」 ○ Let's Chant①② 			◎評価規準<評価方法> 本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
3	◆ ものの位置についての話を聞き、位置を表す表現を理解する。			
	<ul style="list-style-type: none"> ○ Sounds and Letters ○ Let's Sing ○ Word Link「位置」 ○ Let's Try② ○ 振り返りカード記入 (Starting Out) 	聞		◎ものの位置や道順などについて、聞き取る技能を身に付けている。<ワークシート記述>
4	◆ 位置を表す表現を用いて、ものの場所について伝え合うことができる。			
	<ul style="list-style-type: none"> ○ Sounds and Letters ○ Let's Sing ○ Small Talk: Where is the ...? (ものの位置) ○ Word Link「日常生活」 ○ Let's Listen① ○ インフォメーション・ギャップ「絵合わせ」 	聞	聞	◎相手のことを理解するために、ものの位置や道順などについて、簡単な語句や基本的な表現を聞き取って（取ろうとして）いる。<行動観察・ワークシート記述> ◎ものの位置や道順などについて、Where is ...? の質問及び、It's on(in, under, by...)や Go straight for ... blocks. / turn left(right) at the...corner.など簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。<行動観察> (※第4、5時を通して評価する。)

5	◆ 道順を尋ねたり答えたりする表現を用いて、簡単な道案内をし合うことができる。				
	<input type="radio"/> Sounds and Letters <input type="radio"/> Let's Sing <input type="radio"/> Let's Chant①② <input type="radio"/> Word Link「建物など」 <input type="radio"/> Let's Listen② <input type="radio"/> Let's Try④（ロール・プレイ） <input type="radio"/> 振り返りカード記入（Your Turn）	話 や	聞	聞	
6 本 時	◆ 学校周辺がもっと住みやすくなるように、「町にあったらよいものとその場所」を伝えることができる。				
	<input type="radio"/> Sounds and Letters <input type="radio"/> Let's Sing <input type="radio"/> Small Talk: Do you want ... for our town? / What do you want for our town? <input type="radio"/> タブレット上で教師の質問に答えて自分の考えを表現する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ あったらよい場所は何か（映像記録） ・ どこにあったらよいか（地図にマーク） ・ その場所までの道案内（映像記録） 	話 や	話 や		◎「学校周辺にあったらよいもの」について自分の考えを伝えるために、その場所への道順などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて指示をしている。（しようとしている。）<行動観察・タブレット記録>
7	◆ 相手意識をもって、「町にあったらよいものとその場所」について伝え合うことができる。				
	<input type="radio"/> Sounds and Letters <input type="radio"/> Let's Sing <input type="radio"/> 意見交流・対話映像撮影（3名程度グループワーク） <input type="radio"/> 振り返りカード記入 （Enjoy Communication）	話 や	話 や		◎「学校周辺にあったらよいもの」について意見交換をするために、その場所への道順などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて指示をしたり、それらに応じたりしている。（しようとしている。）<行動観察・タブレット記録>
8	◆ 世界の地図や標識について考え、ピクトグラムの利点について考えることができる。				
	<input type="radio"/> Sounds and Letters <input type="radio"/> Let's Sing <input type="radio"/> Do you know?: ピクトグラムの利点 <input type="radio"/> スピーキング・クエスト「2学期⑦場所をたずねる」 <input type="radio"/> 振り返りカード記入（CAN-DO リスト）				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> </div>

9. 本時について

(1) 本時のねらい

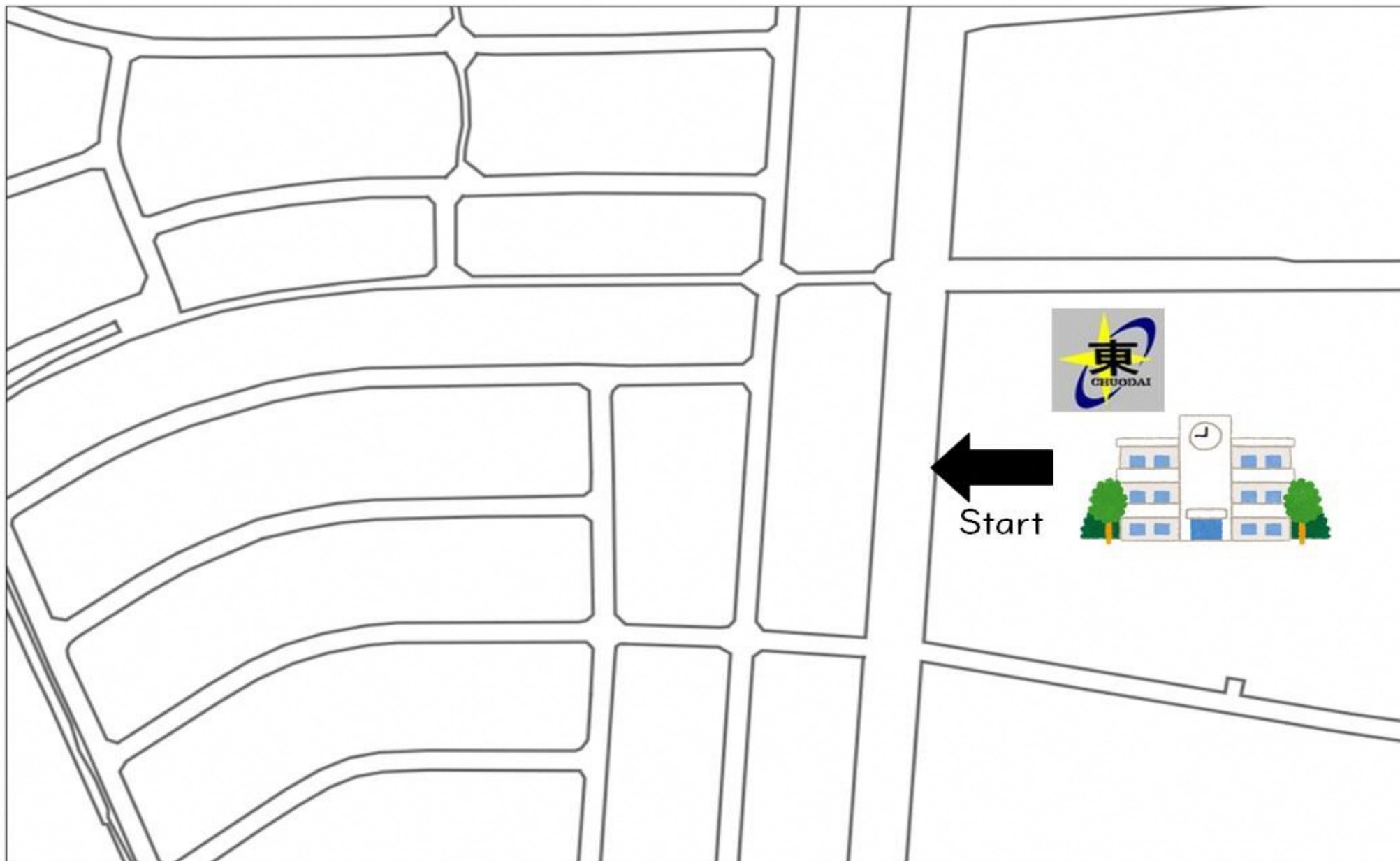
「学校周辺にあったらよいもの」について自分の考えを伝えるために、その場所への道順などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて指示をすることができる。

【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】

(2) 本時の展開

時間 (分)	児童の活動	指導者の活動 評価<方法>	準備物
1	1. 教師およびパートナーとあいさつをする。	○ あいさつをする。	
2	2. Daily Questions (月日・曜日・天気・時間) に答える。	○ カードを用いて児童に質問をする。	板書用カード
5	3. Sounds and letters に取り組む。	○ デジタル教材や文字カードを用いて文字と音の指導を行う。	デジタル教材 文字カード
2	4. Let's Sing に取り組む。	○ 机間をまわりながら、子どもの発声を促す。	デジタル教材
5	5. 本時のめあてをつかむ。 (1) 「町にほしいもの」について教師とスモールトークを行う。 (Do you want … ?/What do you want?) (2) 本時のめあてをつかむ。	○ ピクチャーディクショナリー「建物など」のページを提示し、児童とやりとりを行う。 ○ 活動のイメージをもたせるために、学校周辺の白地図を提示する。	デジタル教材 提示用地図
	学校周辺がもっと住みやすくなるように、町にあったらよいものとその場所を伝えよう。		
20	6. タブレット上で教師の質問に答え、その映像をカメラで撮影し提出する。 (1) ピクチャーディクショナリー「建物など」を参考に、町にあったらよいものを答える。<カード①> (T) What do you want? (S) I want …. (2) 学校周辺の白地図にその場所をマークする。<ワークシート> (3) その場所を教師に英語で案内する。<カード②> (T) Where is it? (S) Go straight for… / Turn right(left) at the … / You can see it on your right(left).など	○ あらかじめ作成しておいたカードを、タブレットの教材配信機能を使って配付する。 ○ 時間内での撮り直しを可とする。 ○ 児童の活動状況を見取りつつ、適宜支援を行う。 ○ 共通する質問やエラー等が出た場合は、活動を止めて全体で共有する。 ○ 活動が早く終わった児童をミニティーチャーとして、タブレット操作等の支援を行わせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「学校周辺にあったらよいもの」について自分の考えを伝えるために、その場所への道順などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて指示をしている（しようとしている）か。<行動観察・タブレット記録></div>	ワークシート タブレット ヘッドセット
4	7. 次時の学習への見通しをもつ。	○ 児童とのやり取りを通して、次の活動のイメージをもたせるとともに、ループリックを配付し、活動のポイントを示す。	ループリック
5	8. 振り返りカードの CAN-DO リストを確認し、自分の学習を振り返る。	○ 本時の段階で記入できる欄について取り組ませる。	振り返りカード
1	9. 教師とあいさつをする。	○ あいさつをする。	

【ワークシート】案内したい場所に●印をつけよう。 5-() Number() Name



学びを深める
中央台東小学校

学びのスキル

聞き方
「あいうえお」
あ…あいつち
い…いい目(視線)で
う…うなずき
え…えがおで
お…おわりまで

話し方
「あいうえお」
あ…アイコンタクト
い…いい声で
う…うつむかず
え…えがおで
お…おわりまで

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
聞く	<ul style="list-style-type: none"> 相手の目を見て聞く。 大事なことを落とさないように聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 話の中心に気を付けて聞く。 自分の意見と比べながら聞く。 メモしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の意図を捉えながら聞く。 なぜ?と考えながら聞く。 頭の中にメモしながら聞く。 			
話す	<ul style="list-style-type: none"> 相手の目を見て話す。 姿勢や口形・声の大きさや速さなどに気をつけて話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の抑揚や強弱・間の取り方などに注意しながら話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、資料や例を示したり引用したりしながら話す。 			
話し合う	<ul style="list-style-type: none"> 主語・述語に気をつけて話す。 理由をつけて話す。 「まず」「次に」「そして」「最後に」等の順序を示す接続語を使って話す。 	<ul style="list-style-type: none"> はじめ・中・おわりのまとまりを意識して話す。 「しかし」「だから」「なぜなら」等のつながりを示す接続語を使って話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 根拠となる情報を示して話す。 「このように」「つまり」等の要約する接続語を使って話す。 			
読む	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話をよく聞いて、自分の考えを相手に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手と自分の考えの似ているところ・ちがうところを考えながら話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いの考えの共通点や相違点、互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合う。 			
書く	<ul style="list-style-type: none"> 1分間で200字程度の文章を読む。(音読・黙読) 	<ul style="list-style-type: none"> 1分間で300字程度の文章を読む。(音読・黙読) 	<ul style="list-style-type: none"> 1分間で400字程度の文章を読む。(音読・黙読) 			
書く	<ul style="list-style-type: none"> 主語・述語に気をつけて読む。 時間や事柄の順序を表す言葉を見つけながら読む。 	<ul style="list-style-type: none"> 事実と意見を区別して読む。 それぞれの段落の中心となる文や言葉を見つけながら読む。 	<ul style="list-style-type: none"> 要旨を的確にとらえ読む。 自分の考えとの共通点や相違点、書き手の立場や意図を見つけながら読む。 			
書く	<ul style="list-style-type: none"> 1分間で20字程度の文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 1分間で30字程度の文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 1分間で40字程度の文章を書く。 			
書く	<ul style="list-style-type: none"> 主語・述語に気をつけて書く。 経験したことや考えを書く。 「まず」「次に」「そして」「最後に」等の順序を示す接続語を使って書く。 	<ul style="list-style-type: none"> はじめ・中・おわりのまとまりを意識し、段落を正しく付けて書く。 「しかし」「だから」「なぜなら」等のつながりを示す接続語を使って書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 根拠を明らかにして書く。 「このように」「つまり」等の要約する接続語を使って書く。 			

学びのスキル

学び方のルール(全校掲示版)



月	学びのスキル (授業の中で)	学び方のルール (生活の中で)
4・5	聞き方「あいうえお」を マスターしよう	チャイムと同時に始めよう
6	話し方「あいうえお」を マスターしよう	忘れ物をなくそう
7	「口の形」「声の大きさ」「話す速さ」 に気を付けて はっきり話そう	宿題を丁寧に取り組もう
8・9	間違えた問題を 解き直そう	ねばり強く 取り組もう
10	文章を「すらすら」読めるようになろ う。(タイムをはかってみよう)	場にふさわしい「ことば」 を使おう
11	友達の話につなげて話してみよう	本をたくさん読もう
12	習った漢字を復習しよう	授業の中での友だちのよさを 見つけよう
1	「したこと」と「考えたこと」を書こう	文字をていねいに書こう
2	相手に伝わるように話そう 「だれが」「どうした」「どうなった」	進んで発表しよう
3	国語科の学習を生かして、相手に 気持ちを伝えよう ・書くこと ・話すこと	感謝の気持ちを伝えよう

5th Grade Unit 5 学校周辺がより住みやすくなるように 「町にあったらよいもの」とその場所を考えて案内しよう。

5-() Number() Name _____

	対話の内容 【考えて・言葉を選び・表現する】
Ideal (理想) ★★★	(Goal 1, 2 に加えて…) 相手とコミュニケーションを続けるために、話の内容に合わせて質問をしたり、自分の考えなどを話したりすることができる。
Goal (目標) 2 ★★	(Goal 1 に加えて…) 「町にあったらよいもの」の場所について、たずねたり道案内をしたりすることができる。
Goal (目標) 1 ★	「町にあったらよいもの」が何かについて、たずねたり答えたりすることができる。

↓ よいコミュニケーションのために… ↓

「聞き方」のあいいうえお (English Ver.) 	「話し方」のあいいうえお (English Ver.) 
あ…あいづち Reactions	あ…アイコンタクト Eye Contact
い…いい目(視線)で Eye Contact	い…いい声で (口の形、声の大きさ、話す速さ) Clear Voice
う…うなずき Nodding	う…うつむかず (自信・勇気をもって) Confidently
え…えがおで Smile	え…えがおで Smile
お…おわりまで(聞ききる) Accomplish	お…おわりまで(言いきる) Accomplish